

ロータリー財団フォーラム

～ジェニファーさんに会ってきました～

1)さる、8月21日金曜日ジェニファー・ジョーンズ財団管理委員長ご夫妻の出席のもと、財団フォーラムが開催されました。会場は虎ノ門ヒルズ駅から徒歩2分、日本消防会館2階のニッショウホールでした。

14時からの開始で、辰野克彦氏の挨拶とジェニファーさんの紹介から始まり、そして本人の挨拶がありました。同時通訳の会員のおかげで我々は十分にユーモアのある楽しいお話が聞けました。

その後ロータリー財団の説明と財団寄付金を活用した奉仕活動の発表が3件あり、その3件を含むQ&Aがありました。マイクをもったジェニファーさんは語りかけるような口調で、会場の会員の顔をみながら話しはじめました。

ロータリー財団の寄付金の使い道は、素晴らしい奉仕活動へとつながっており、すでに目標の28億ドルに達していました。今後の活動の資金としてどのような奉仕活動ができるか今後の課題です。

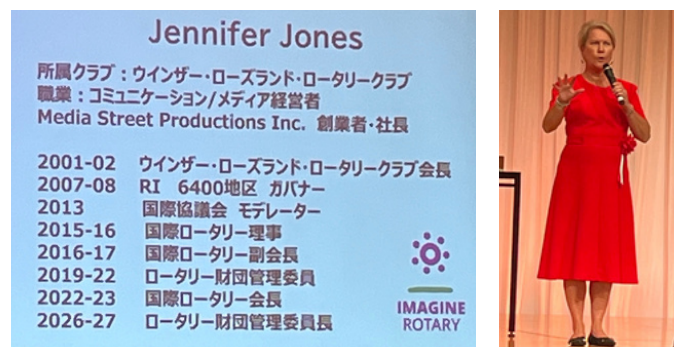
2)今回の当クラブフォーラム登録者は石塚会長、加古幹事、宮代会員、野口会員、石川会員、山本会員、そして私佐藤の7名でした。加古幹事は8月23日神戸でのフォーラムに参加し、報告をいただいています。また石川会員は奉仕のため急遽不参加でした。

17時過ぎからお楽しみイベントもありましたが、我々はスキップしました。18時からホテルオークラでの歓迎晩餐会が設定されておりましたが、今回は＜気楽にロータリーと財団について語ろう＞をテーマに、ロータリー財団委員長の佐藤の考えで、消防会館近くの串揚げ屋に席を設けました。当クラブの歴史について先輩からの話に耳を傾け、今回のフォーラムの感想をまとめました。

まずジェニファーさん(過去、国際ロータリー会長)のオーラを感じました。また寄付金プロジェクトの中(日本のRCの奉仕活動)に、タンザニアの少女への性教育とナプキン配布の奉仕活動があり、中学高校に出向きセミナーと生理用ナプキンをプレゼントするプロジェクトでした。

日本から7名の会員と家族が訪問し、各学校を訪問、予算は200万円の大プロジェクトです。しかし実際に会員の交通費や宿泊費、また仕事の休み、ズームでのやり取りとかなりの時間と費用が想定されます。7人に費やした個人的費用もかなりの額がかかったと思われます。一人10セント寄付という考えで、寄付金を集める考え方の話もありました。また今回はジェニファー・ジョーン・ジャパン賞と言うのを作り、寄付金の額により賞を渡す企画もできたようでした。

いずれにせよ、ポリオ根絶や奉仕活動には資金集めに重点をおいたフォーラムでありました。(佐藤美枝子)



滝川第二高校吹奏楽部演奏



諸事情がありまして、ロータリー財団フォーラムの神戸開催に出席しました。今年度のロータリー財団管理委員長は、ジェニファー・ジョーンズさんです。ご存じのように2022-2023年度国際ロータリー初の女性会長を務められた方です。ジェニファー・ジョーンズさんのスピーチを直接聞くのは3度目です。1回目が2022年の今回と同じ会場の神戸ポートピアホテルで開催されたロータリー研究会、メルボルン国際大会本会議、そして今回です。今回はロータリー財団管理委員長という立場での来日ですので、今回のプログラムは、エンドポリオナウとロータリー平和フェローの話に終始したという内容だったと思います。特にポリオの根絶が国際ロータリーの最重要テーマのように感じます。ポリオへの寄付を奨励し、寄付の賛同の額の倍額がマイクロソフト創業者の財団であるビル&メリンダゲイツ財団より寄付されることを強調されていました。東京開催とは違い、神戸ではプログラムの最後に地元滝川第二高校吹奏楽部の演奏を観ることができました。滝川第二高校吹奏楽部は強豪校で、何とこの度、イタリア・ジュリアノーヴァーで開催された国際音楽祭で総合優勝含む5部門を受賞する快挙を成し遂げたそうです。その授賞曲含め高校生の圧巻のパフォーマンスにジョーンズ委員長を筆頭にスタンディングオベーションで労いました。このパフォーマンスを見て神戸に来た甲斐がありました。

(加古博昭)



東京池袋豊島東ロータリークラブ 第 6 回例会 2026/8/27

3122回

Weekly Report



会長：石塚丈晴 幹事：加古博昭 RI会長：オンラインカ・ハキーム・ババロラ 第2580地区ガバナー：谷一文子

【珠玉のこぼれ Part II】

「優秀なリーダーに共通する唯一無二の特徴はカリスマ性をもっていないことだ」

「マネジメントの発明者と言われる経済学者ピーター・ドラッカー（1909-2005）は、『経営革命大全』でリーダーに求められるのは、目標の達成であり、仕事の成果であると言います。日々の地道な成果の積み重ねが必要であり、カリスマ性ではないのです。」

本日の例会

8月27日(木)12:30～13:30

卓話：イニシエーションスピーチ

卓話者：矢口哲也会員

次回の例会

9月3日(木)12:30～13:30

卓話：「新たな不登校対策・SBSルーム」

卓話者：武田幸雄 様

板橋三中元校長、現板橋フレンドセンター

8月20日 例会報告

司 会 森川会員
開会点鐘 石塚会長

ロータリーソング

ソングリーダー 石川会員

会員総数 27名

出席規定適用者数 21名

本日の出席者総数 22名

// 免除者出席数 6名

本日の出席率 81.48%

ゲスト：吉田健司 様 卓話者

(一社)寺子屋カレッジ代表理事

会長報告

1. 稲川一 元会員を偲ぶ会

2026年9月11日(金) 18:00～20:00

ホテルメトロポリタン 25階「ポラリス」

クラブ内締切 8月31日

8月

受 付：宮代昌三会員 小代順治会員 横山晴夫会員 長尾益男会員

司 会：森川義基会員 ニコニコ：山本伸也会員

写 真：小代順次会員 ソングリーダー：石川宜司会員



としまこども講談教室のご案内

本年度の「としまこども講談教室」の詳細が決まりましたので、ご案内いたします。
ご多忙中と存じますが、何卒ご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

【第1回】 締切 10月3日

2026年10月19日(月) 10:30~12:10

豊島区立池袋本町小学校 5年生 「道徳科」授業

【第2回】 締切 11月30日

2026年12月9日(水) 10:30~12:10

豊島区立朋有小学校 4年生 「道徳科」授業

【第3回】 締切 1月8日

2027年1月18日(月) 10:30~12:10

豊島区立駒込小学校 5年生 「道徳科」授業

*終了後、講談師とともに給食をいただきます。
(小泉博明)

稲川一 元会員を偲ぶ会のご案内

会長報告でもご案内の通り、現役ロータリアンとして、突然お亡くなりになりました稲川一元会員を偲ぶ会を開催致します。

ご多用のところ恐縮ではございますが、会員ならびにご家族の皆様の多数のご参加を賜り、故人を偲ぶひと時を持ちたいと思っております。

故人と交流のありました元ロータリアンの方へのお声掛けもお願い致します。
(石川宜司)

ニコニコ

佐藤会員 職業奉仕のため早退させていただきます。
RACの55周年記念に参加してきました。

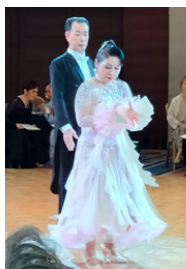
本日の合計額: 3,000円

今年度ニコニコ累計額: 173,000円

サマーダンスパーティー

8月2日ホテルメトロポリタン富士の間で開催されたサマーダンスパーティーに参加してきました。

(佐藤美枝子)



7月入会矢口会員へロータリー会員章授与



宝塚歌劇宙組公演観劇

8月11日(火)、「湖々さくら」さんが出演する宝塚歌劇宙組公演、『黒蜥蜴』『DIAMOND IMPULSE』を観劇した。

ミュージカル・ロマン『黒蜥蜴』は、江戸川乱歩の原作を、三島由紀夫が戯曲化した作品であるが、宝塚歌劇ならではの大胆な潤色で、名探偵・明智小五郎と女性盗賊・黒蜥蜴との新たな世界観を展開した。1960年代の東京を舞台に、名探偵と女性盗賊の知性と怪しさが交錯するスリルに満ちた追跡劇により、追う者と追われる者との間には、いつしか孤高の禁断の愛に昇華されていった。なお、明智小五郎を桜木みなと、黒蜥蜴を春乃さくらが演じ、原作の耽美性を舞台で深く掘り下げ再構築した。

『DIAMOND IMPULSE』は、ダイヤモンドの輝きを巡るエネルギッシュなダンスが披露された。フィナーレは、26段、奥行23cmと言われる大階段で、トップスターが大きな羽を背負った華麗な衣装で笑顔を観客に降り注ぎ、劇場全体が幸福な余韻と興奮に包まれた。

100周年を迎えた宝塚歌劇は、舞台に流れる品格と様式美、タカラジェンヌと観客が一体となった祝祭であると実感した。
(小泉博明)

観劇会参加: 8/2細田会員、加古会員、8/11小泉会員、小川さん、8/26細田会員、佐藤会員



卓話



「信州なかの農業経営塾」実践録
(一社)寺子屋カレッジ 代表理事 吉田健司 様

1950年、岐阜県出身

早稲田大学 大学院理工学研究科 卒

旭化成(株)入社

米国イリノイ大学 経営大学院 MBA取得

淑徳大学・大学院 教授

著書:「論の経営学、倫の経営学」(帝京大学出版会)

本日は、長野県北部の中野市で2017~2020年の4年間にわたり実施した「農業経営塾」の実践についてお話ししました。
この経営塾は、当時の中野市長からのお声がけを契機に、JA中野市との協力のもと、地域おこしの一環としてスタートしたものです。「儲かる農業」「夢と生き甲斐を持てる農業」を目指し、農業従事者や関係者に、経営マネジメントの考え方や実践的なノウハウを学んでいただくことを目的としました。

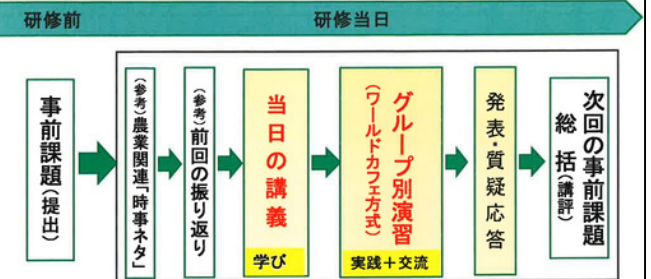
農閑期の8月末から翌年2月末まで、毎月1回、4時間の講義と演習を実施。モットーは「楽しくなければ農業経営塾ではない!」です。一般コースで経営の基礎を学び、さらに意欲のある方にはステップアップコースを設けました。また、6次産業化などに取り組む先進的な農業法人を訪問し、現場での学びと交流も深めました。
その結果、シャインマスカットや干し柿などの商品開発・販売への挑戦に加え、Iターン・Uターンによる若い農業従事者の育成にもつながりました。これからの地域創生には、農業への経営学の導入とともに、地域外の人々との交流を広げ、「関係人口」を増やしていくことが重要な鍵になると考えています。

「信州なかの農業経営塾」の受講生募集用チラシ

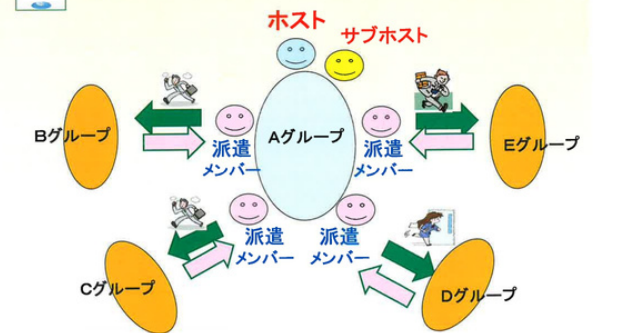
	2017	2018	2019	2020
一般コース				
	[修了生: 13名]	[修了生: 14名]	[修了生: 11名]	
ステップアップコース				
		[修了生: 6名]	[修了生: 7名]	[修了生: 11名]

「信州なかの農業経営塾」[一般コース]の進め方
一構成内容一

【開講目的】
農業を取り巻く環境は厳しく時代は刻々と変わりつつある。この変化をチャンスと捉え「信州なかの」農業の更なる発展とビジネス感覚に優れた「農業経営者」を育成する。



ワールドカフェ(情報収集)のイメージ図



地域創生と関係人口

